事例No.	2017
公表年度	R4
団体の属性	中核市
団体名	香川県高松市

事例区分	DX

タグ	・消防・防災 ・新たな政策手法の確立・活用 ・ICT

事例種類	住民生活

事例内容・タイトル

データ連携基盤の活用と、多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ」の推進

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

37 データ連携基盤の活用と、多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ」の推進【香川県高松市】

事業の概要

○ 高松市ではデータ連携基盤「IoT共通プラットフォーム」の活用と、産学民官の多様な主体が参画する「スマートシティたかまつ推進協議会」との連携を通じて、スマートシティたかまつの実現に向けた取組を推進している。

○ 防災分野の取組として、本市水防計画上の観測地点に水位・潮位センサーを設置する等、リアルタイムデータをIoT共通プラットフォームに収集するとともに、それら防災情報(水位・潮位、アンダーパスの冠水状況、避難所情報、土砂災害危険区域図等)を一元的に可視化し、表示できる「高松市ダッシュボード」を構築し、早期の災害対策に活用している。



○ 近隣市町と本市IoT共通プラットフォームを共同利用する協定を締結し、令和2年度より共同利用を開始している。同市町についても防災・減災に必要なデータを新たに収集し、本市のダッシュボード上に一元的に表示するなど、広域連携・広域防災の取組も推進している。

【参考情報①】 人口：42.6万人
関連URL：スマートシティたかまつ（高松市公式ホームページ）
https://www.city.takamatsu.kagawa.jp/kurashi/shinotorikumi/machidukuri/smartcity/index.html

【参考情報②】データ利活用型スマートシティ推進事業（総務省）とは
URL：https://www.soumu.go.jp/main_content/000537347.pdf

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー


（総務省）

取組の経緯・きっかけを教えてください。


（高松市）

平成28年度に本市でG7香川・高松情報通信大臣会合が開催されたことをきっかけとして、スマートシティや、データ利活用に向けた機運が高まりました。平成29年度には総務省の「データ利活用型スマートシティ推進事業」の採択を受け「IoT共通プラットフォーム」の構築、スマートシティたかまつ推進協議会の設立を行い、スマートシティの実現に向けた取組を本格的に開始しました。



導入又は実証時において、国又は都道府県の支援制度（人的支援や技術提供、補助金等）を活用しましたか？



産学民官の多様な主体が、分野横断的にデータの収集・分析ができる場として「IoT共通プラットフォーム」の構築、また防災分野及び観光分野の取組として、各種データを収集するためのセンサーやGPSロガーの設置において、上記の通り、総務省の「データ利活用型スマートシティ推進事業(平成29年度)」を活用しました。



事業の近況を教えてください。



「スマートシティたかまつ」の実現に向けて、その取組を更に加速させるため、令和3年度には内閣府へ「高松市スーパーシティ構想」の提案を行い、令和4年度にはデジタル庁が実施している「デジタル田園都市国家構想推進交付金」へも手を挙げるなど、国の動きと連動しながら、継続的に事業を推進しています。

★担当：高松市総務局デジタル推進部 デジタル戦略課★

令和3年度事業費　30,385千円